

星の王子さま

作さく
サン＝テグジュペリ Saint-Exupéry

訳やく
内藤灌(岩波書店刊)

構成・演出 浅野佳成

令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業
巡回公演事業

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校、中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



『星の王子さま』をみる皆さんへ

俳優(キツネ役) 工藤順子

王子さまは旅をしながら、疑問を感じたり、不思議に思ったことを「どうしてだろう?」「なぜだろう?」と自分や人に聞いかけます。そして、「心で見なければ、大切なことは目に見えない」という言葉に出会います。

みんなも、そんな王子さまと一緒に「自分の大切な物ってなんだろう?」と、旅をしてくれたら嬉しいです。そして、ひとりで寂しい旅をする王子さまを励ましてあげてください。自分の夢、友だちや家族のこと、みんなが見つけた「大切な物」は、きっと自分や誰かにとっても、自由に未来へ羽ばたくための勇気と希望になると想います。

たまに私は「大切な物」を忘れ落ち込んでいます。

でしまう時があります。そんなとき私は、この芝居を一緒につくったみんなの声や笑顔、その風景を思い出し、振り返るようにしています。すると、なんだか勇気がわいてくるのです。

みなさんも、心がきりきりして、誰かのことを考える時間も、気持ちもなくしてしまうことがあるかもしれません。でも、大丈夫です。王子さまは、いつでもそばにきて、笑いながら元気に優しく、あなたの心に話しかけてくれます。

東京演劇集団風 —未だ形を探らない豊かさを求めて—

1987年に創立。この名前には“自由に風のようにものをつくる”という思いが込められています。1999年には、東京・東中野に専属の拠点劇場〈レパートリーシアターKAZE〉を建設。

劇作家ベルトルト・ブレヒトや現代劇作家マティ・ヴィスニュックなどの作品を中心に行なっています。2003年からは、国際演劇祭を開催し、海外アーティストとの交流や共同制作も行なっています。

また、中学生・高校生を対象とした巡回公演にも力を注ぎ、ブレヒト作『肝っ玉おと母とその子供たち』、ヴィスニュック作『ジャンヌ・ダルク—ジャンヌと炎』をはじめ、6作品が各地での上演活動を続けています。特に創立以来、上演を続けている『星の王子さま』は劇団の代表作です。2017年には創立30周年を迎え、記念企画として、レパートリー作品と新作の上演を2年間にわたり行いました。

2019年からは誰もが一緒に楽しめるバリアフリー演劇の上演を開始しました。



東京演劇集団風

東京演劇集団風
Tokyo Theatre Company KAZE

〒164-0003 東京都中野区東中野1-2-4
Tel.03-336 3-3261 [代] Fax.03-3363-3265
E-mail: info@kaze-net.org URL: http://www.kaze-net.org/



ほし うつく め み はな
星があんなに美しいのも、目に見えない花がひとつあるからなんだよ――

東京演劇集団風の ミュージカル 星の王子さま

キャスト

王子……………白根有子
飛行士……………緒方一則
キツネ……………工藤順子
花……………渋谷愛
ヘビなど……………栗山友彦

スタッフ

音楽……………八幡茂
演出助手……………江原早哉香／西垣耕造
舞台美術……………松井るみ
照明……………坂野貢也
音響……………酒見篤志
衣裳……………出川淳子
振付……………郡司行雄

ちっぽけな星にひとりで住んでいる王子さま。
ある日、その星にきれいな一輪の花が咲きます。
王子さまは喜んで、花と仲良く暮らしますが、ある時ちょっとしたことで
けんかになってしまいます。
そして王子さまは、自分の星を飛び出して、星を巡る旅に出かけます。
王子さまは、さまざまな大人たちと出会いますが、なかなか自分が
住みたいと思う星が見つかりません。
最後に地球にやってきた王子さまは、砂漠で飛行士と出会い、
一緒に旅を続けます。飛行士や一匹のキツネと友だちになることを通して、
誰にでも“かけがえのないもの”があることを知った王子さまは、
花が自分にとって大切な、守らなければならない存在だと気がつきます。
そして成長した王子さまは、飛行士と地球に別れを告げて、
花のために自分の星に帰ろうと決心するのです。

フランスで生まれた作者サン=デグジュペリは、1943年、第二次世界大戦の
さなかに、この小さな少年の物語『星の王子さま』を書きました。

大きな戦争の時代を経験したサン=デグジュペリは、この作品に、
「物事の奥深くにある真実を心で見てほしい」「思い出や美しいものを

感じる心を大切にしてほしい」という想いを込めています。
懸命に生きる小さな王子さまの勇気と、美しさや、はかなさが
描かれているこの物語の世界を大切に、
『星の王子さま』を上演しています。

にほん こどもたちへ

東京演劇集団風の『星の王子さま』の上演活動に共感した
サン=デグジュペリの遺族から日本の観客に届けられたメッセージ

日本のかなやまくともども、あなたがたの勇気は、この星ぜんたいにとつてのお
手本です。太陽がまた輝きだすという希望を失わないでください。あなたがたは
わたしたちからはあまりに遠く離れているので、この目であなたがたを見るこ
とはできません。でも心の目で見ることができます。そして言わせてください
い。星の王子さまはあなたがたとともにいて、あなたがたを助けてくれます。彼
は世界のすべての子どもたちの友だちです。彼はあなたがたの友だちなのです。
——心からの友情を込めて

フランソワ・ダゲイ François d'Augey
(サン=デグジュペリ財團理事長 Succession Antoine de Saint Exupéry)

